

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 中野校区

開催年度回次	令和4年度第17回	開催月日	10月30日	開催校区	中野校区	開催場所	中野校区市民館
懇談内容				市の回答			
<p>1. 校区周辺の都市計画・道路整備</p> <p>一色高洲線及び関連する都市計画道路の進捗状況と、周辺地域に及ぼす整備効果について教えてください。</p>				<p>道路建設課</p> <p>一色高洲線の進捗状況につきましては、ほいっふ前から北東 350m の区間について、9月に完成・供用したところです。また、その先の柳生川南部土地区画整理事業区域内の区間については令和3年度に供用しております。</p> <p>現在、上記の両区間に挟まれた、約 780m の区間(内、ほいっふ側から大山停車場線まで(市施工約 490m)、大山豊橋停車場線から区画整理区域まで(県施工約 290m))については未供用となっていることから、愛知県と調整を図りながら早期に事業を進めていきたいと考えています。具体的には、現在、愛知県によって道路予備設計が進められているほか、本市においても来年度に道路詳細設計を行いたいと考えております。</p> <p>未供用区間が開通すると、一色町から牟呂大西町までの約3kmが通行可能となり、ほいっふと市民病院間のアクセス機能が向上するだけでなく、本路線と豊橋渥美線、大山豊橋停車場線、豊橋港線が接続します。本路線を経由して主要な県道にアクセスする車両が増えることで交通が分散し、その結果、周辺部の生活道路の混雑が軽減されるものと考えております。</p> <p>また、校区周辺の道路整備としましては、愛知県が渋滞対策として国道259号の空池交差点～高師口交差点の区間について路面標示の見直しを行いました。具体的には1車線であった北進車線を2車線化しながら、空池、南栄町、南栄駅前北交差点は右折車線を確保するとともに、高師口交差点については右折車線の拡幅を行い直進車両の円滑化を図っています。</p>			

開催年度回次	令和4年度第17回	開催月日	10月30日	開催校区	中野校区	開催場所	中野校区市民館
懇談内容				市の回答			
<p>2. スーパー「カネスエ」進出に関する課題</p> <p>来春開店予定のスーパー「カネスエ」については「地元校区対策協議会」を設置し、各種課題について協議してきましたが、中野小学校の児童約200人が利用する通学路の安全対策が急務です。市担当課とも協議を重ねましたが、基本的な対応策について、改めてお聞かせください。</p>				<p>道路維持課</p> <p>カネスエとユタカ自動車学校間の市道については、ガードレールによる歩車道の分離など通学路としての基本的な安全対策は既に講じられていますが、現ガードレール開口部の封鎖など、協議会から伺った意見で可能なものにつきましては、カネスエの事業進捗に合わせて対応してまいります。</p> <p>学校教育課</p> <p>基本的な対応策としましては、通学路のルート変更も視野に入れる中で、まずは通学路の安全性を最優先します。特に低学年の児童が下校をする際には、付き添いの下校指導を行う必要性も含め、学校とともに対応を検討します。</p> <p>一方、事業者への対応としましては、子どもの登下校時間と重ならないような搬入時間の設定や警備員等の配置などの要望を引き続き伝えてまいります。</p>			

開催年度回次	令和4年度第17回	開催月日	10月30日	開催校区	中野校区	開催場所	中野校区市民館
懇談内容				市の回答			
<p>3. 豊橋市の「子育て支援事業」について</p> <p>(1) 現状の施策と今後の計画について教えてください。</p> <p>(2) 学校給食の無償化の見通しについて教えてください。</p>				<p>子育て支援課</p> <p>(1) 本市では、「人づくりNo. 1をめざすまちプロジェクト」を立ち上げ、部局横断で子育てや教育の分野に重点を置いた取り組みを進めています。</p> <p>こうした中での、子育て支援の現状の施策についてですが、今年度は子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、所得制限なく第2子の保育料無償化と副食費の助成を行ったほか、一時預かり事業の利用料についても一部軽減を行いました。</p> <p>また、ニーズに合わせた多様な保育サービスの提供を充実させるため、病児保育を拡大するなどの取り組みを行うとともに、保育士の確実な確保策として、市独自に保育士の処遇改善にも取り組んでおります。</p> <p>さらには、放課後にスポーツや文化・芸術などの多様な体験活動を行う「のびるんdeスクール」についても昨年度の12校での開催から大幅に拡充し、すべての小学校(52校)で開設しております。</p> <p>今後も、子育てに安心や希望が持てるまちとなるよう、時代の変化にも対応しながら子育て家庭のニーズを的確に捉え、子育てしやすい環境づくりを進めていきます。</p> <p>保健給食課</p> <p>(2) 令和4年10月から令和5年3月の半年間、期間限定ではありますが、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として、市立小中学校及びくすのき特別支援学校(小学部・中学部)の児童生徒にかかる学校給食費を無償にします。</p> <p>令和5年4月以降の対応は未定です。</p>			

開催年度回次	令和4年度第17回	開催月日	10月30日	開催校区	中野校区	開催場所	中野校区市民館
懇談内容				市の回答			
<p>4. 消防団関係の課題について</p> <p>(1) 現在、中野分団の消防器具庫は急傾斜地に立地していますが、安全な場所へ移設できないでしょうか。</p> <p>(2) 消防団員の確保に苦慮していますが、団員確保の施策をどのように考えていますか。</p>				<p>消防本部総務課</p> <p>(1) 消防器具庫が、急傾斜地に隣接していることは認識しております。移設等につきましては、消防器具庫の立地、経過年数や老朽化などの状況を総合的に鑑み、関係部署と協議し、判断してまいりたいと考えております。</p> <p>(2) 消防団員の確保については、多くの分団で大変厳しい状況であることは認識しております。団員の勧誘に際しまして、自治会を始め多大なご尽力を賜っており、感謝しております。本市における消防団員の確保や加入促進の取り組みとしては、次の3つの事業を柱に展開しております。</p> <p>ア 学生消防団活動認証制度・消防団活動認証制度について 本市の消防団員として1年以上活動を行った大学生などの若者に対し、就職活動を少しでも良い評価を得られるように支援する制度です。</p> <p>イ 消防団協力事業所表示制度について 従業員等が消防団員として入団しているなど積極的に消防団活動に協力していただいている事業所に対し、地域貢献の証として表示証を交付する制度です。</p> <p>ウ ほの国消防団・消防団応援事業について 消防団員に対する福利厚生事業として、主旨に賛同し登録いただいた飲食店等を対象に、団員が一定の割引サービスを受けることができる制度です。これらの取り組みを更に推進させるとともに、消防団と協議を図り、活動における負担の軽減を図るなど、入団しやすい環境整備に努めてまいりたいと考えています。引き続き地域防災力の中核となる消防団員の確保に向け、地域の皆様のお力添えをいただきながら、取り組んでまいります。</p>			